

梅雨の時期に関するお知らせ

名古屋地方気象台は、本日（7月4日）に
「東海地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

東海地方は、高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう一週間は、山沿いや内陸部を中心に一時雨や雷雨となる所もありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、東海地方は7月4日ごろに梅雨明けしたと見られます。

今年の梅雨明けは、平年（7月19日ごろ）と比べ15日早く、昨年（7月18日ごろ）と比べ14日早くなりました。

7月4日ごろの梅雨明けは、統計を開始した1951年以降で、1978年と同じく3番目に早い梅雨明けとなります。

（参考事項）

東海地方の梅雨明け

平年の梅雨明け：7月19日ごろ、昨年の梅雨明け：7月18日ごろ

梅雨明けの早いほうから順位（3位まで）

1位：1963年6月22日ごろ、2位：2001年7月2日ごろ、

3位：1978年7月4日ごろ

梅雨期間降水量（6月9日から7月3日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）
高山	357.5	181.5
岐阜	340.5	227.2

（注意事項）

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間程度あるいはその先まで天候の見通しをもとに、速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。